

結成5年目・400名の仲間とともに運動の歩幅を広げよう！

本日、私たち大阪損保革新懇は、第5回年次総会を迎えました。

この1年、私たちは「職場に根差した革新懇を」「より多くの仲間が参加する革新懇運動を呼びかけ、400人の会員にする」「大阪損保革新懇のホームページを開設する」を中心に取り組んできました。

ホームページは4月17日より開設、全国の仲間「読んでもらおう」「知ってもらおう」運動を掲げました。以来7カ月、本日1700に近いアクセスに到達しています。このことは私たちの存在と運動が、全国のより多くの仲間知られ、情報の発信と運動への参加を呼びかけてきた結果を物語るものです。

そして本日、ついに念願の400人を越える仲間で構成する組織に発展し年次総会を迎えることになりました。あらためて私たちの運動、そしてその主張と提言は、立場の違いを越えた多くの幅広い仲間から賛同と共感をいだいていることに確信をもとうではありませんか。

損害保険産業は引き続き「金融ビッグバン」が進む中、昨年12月には「大成火災の破綻」が報じられ、4月には「ミレア・グループ」そして7月から「損保ジャパン」と大型合併、統合が進行しました。そこで働く仲間の状況も激動、激震の最中にあります。

今、職場で働く仲間は、損害保険産業の精神である「一人が万人のために、万人は一人のため」が置き去りにされ、「儲けのためなら何でもする」方向に進もうとしていることに深い憂慮と不安そして様々な問題意識と意見を持っています。

市場原理万能主義や規制緩和万能論のもと生き残りをかけた相次ぐ企業のリストラ策は、そこで働き続けてきた者の誇りや良心をも消失させ、この間多くの仲間がこの産業から去って行く結果をもたらせています。

このように「厳しい」の一言に尽きる職場内外の状況にあります。私たちがこの1年 (1) 『顧客に支持される保険文化の構築へ』(保険ジャーリスト・中崎章夫氏) 総会記念講演録の普及 (2) 『百合子と私』 損保女性の集い(講師：坂井希さん・民青同盟委員長) の開催 (3) 映画『郡上一揆』の自主上映運動の取り組み (4) ホームページ開設記念講演「ミレア・損保ジャパン戦略のゆくえ」(明治大学教授・押尾直志氏) の開催

と講演録の普及 (5) ホームページを「知ってもらおう」「読んでもらおう」取り組み (6) 5・18損保フェスティバルの開催などに取り組み、各職場の会員と幅広い仲間の協力で成功させることが出来たことは、本年度の大きな特徴です。これらの運動へのべ1,170人が参加し、その都度多くの感動、勇気、元気を分かち合い、確認し合うことができました。

今、職場の仲間は二つの期待を、大阪損保革新懇に寄せています。一つは、労働組合の枠を超えた革新懇運動に対する期待です。二つ目は、業界や行政を動かすぐらいの世論づくりへの期待です。私たちは、これらの期待をしっかりと受けとめて、5年目の運動を積極的に展開していきます。より多くの仲間がこの運動に参加されるよう心から呼びかけます。

5年目の運動のスタートにあたって私たちを取り巻く情勢は、小泉自民党連立政権のもとで日本の政治、経済、国民生活をはじめ平和の危機がより一層深まろうとしています。

長引く不況や雇用不安などで国民にたい「痛み」をおしつけ、さらに「小泉構造改革」によっていっそう大量倒産・失業・リストラの進行と福祉・医療・教育の切り捨て、切り下げが強行されました。

一方では「宗男ハウス」問題をはじめとする政・官・財癒着の金権腐敗が明らかとなり、また食品業界大企業の偽装事件・電力大企業の偽装報告事件は、「食の安全」「命の安全」を脅かす、まさに「国民の生存権」の侵害として国民的「怒り」が沸き起こっています。

私たちは、昨年の総会アピールで「アメリカを襲ったテロは絶対に許すことのできない悪質な犯罪行為です。しかし私たちは、今回開始された報復戦争はテロ問題の解決に有効でないばかりか、新たな悲惨な被害をもたらすものだと考えます。」と表明しました。ところが今年も、問題の質は違うもののアメリカはイラクに対して戦争を開始しようとしています。今、国連憲章をも踏み越える強硬なアメリカに対して反対と批判の国際的世論が沸き起こっています。私たちはあらためて戦争による解決は何に一つとしてあり得ないばかりか悲惨な被害をもたらすだけであり、当事国が国連決議と国連憲章を守ることに考えます。

弁護士会やマスコミ業界をはじめ、国民の各界各層からの反対の世論で成立しなかった有事三法案が、再び今臨時国会に提出されようとしています。

私たちは、この法案が公権力の名の下に国民の基本的人権を侵害し、憲法九条をも無視する海外派兵・武力行使を合法化する、日本と国民にとってきわめて危険な道に踏み込ませようとするものであり、この道・方向は絶対に避けなければならぬと考えます。

私たち大阪損保革新懇は、400名の会員に発展してきています。所属する企業や労働組合を問いません。組合経験の有無も関係ありません。代理店、アジャスターも参加し職種も関係ありません。現役、OBも関係ありません。もちろん思想・信条の違いも問いません。全国革新懇の掲げる三つの共同目標と「損害保険産業の民主的発展をめざす」方針に賛同・支持する人は誰でも迎え入れます。会則の中で「自分に合わない活動は、強要・強制はしません。」を掲げる懇話会です。

私たちは、「損害保険のすべての労働組合と組合員が、損害保険で働くすべての人たちの雇用と労働条件を守り、損害保険の民主的発展に努力・奮闘されるよう協力・共同していきます。」という方針をあらためて確認し、たかろう労働組合と仲間との協力・共同関係を強化しなければなりません。

仲間のみなさん

私たちは結成5年目、「人間を大切にすることを忘れた国や産業、企業に本当の未来はあるのでしょうか。」を問いかける運動を展開していきます。「働いて良かった」と言える産業・会社、「生きていて良かった」と言える社会。人生を築いていくために奮闘していきます。

勇気を出しましょう！ 誇りを持ちましょう！ 元氣！ 勇氣！ 誇り！ 生きがい！ 働きがい！
ともに手を取り合い、力を合わせて展望のある未来を切り開いてゆこうではありませんか。

ネバー、ネバー、サレンダー(へっつしてあきらめない)！

2002年11月18日

二十一世紀の平和・民主主義・革新と損保の民主化をめざす大阪損保革新懇話会

大阪損保革新懇第5回年次総会